

まとめたのが、第21表である。

小規模校は、㊦、㊧が主体であり、大規模校は㊨、中規模校では㊩、㊪が主体である。この傾向は第1表（形態別学校数の割合）と、ほとんど一致している。

イ. 担当類型

第20表の規模ごと最高比率のものを抽出してその類型を示したのが、第22表である。

(抽出)

小規模校……29.8% (週4時間) ……72校
 中規模校……20.1% (週4時間) ……32校
 大規模校……24.6% (週6時間) ……17校

第21表における形態の相互の関連を特徴的にみることができる。小規模校は、㊦奉仕を主体にして、㊩交換や㊨学級担任外・㊫学級担任専科的との組み合わせ、大規模校の場合は、㊨学級担任外専科的を主体に、㊦奉仕や㊩交換が組み合わせられている。中規模校の場合は、両者の中間で、㊦奉仕と㊨学級担任外専科的のふたつを主体に、その組み合わせの類型となっている。

しかし、この例は、前述のようにして再度抽出されたものであるから、全体にあてはめてみることは問題がのころう。

第21表

%

規模 形態	～6	7～17	18～
㊦	1.2	0.9	0
㊧	6.5	15.6	17.0
㊨	23.2	37.5	37.5
㊩	6.7	2.8	8.5
㊪	15.1	16.3	18.8
㊫	47.3	26.9	18.2

第22表 第5学年の類型

%

類 型	規 模	～6	7～17	18～
① 学担と ㊦	㊦	37.6	28.1	・
② “ ㊩㊫	㊩㊫	19.4	・	・
③ “ ㊨ ㊦	㊨ ㊦	11.1	・	・
④ “ ㊩ ㊦	㊩ ㊦	9.7	・	・
⑤ “ ㊨	㊨	・	37.5	23.5
⑥ “ ㊨ ㊦	㊨ ㊦	・	15.6	41.2
⑦ “ ㊨ ㊩	㊨ ㊩	・	・	23.5
⑧ “ その他	その他	22.2	18.8	11.8

3) 担当教師・担当教科

第7図 担当教師の原学級

